

○計画期間：平成27年12月～平成33年3月（5年4月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成29年度終了時点（平成30年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、前基本計画（平成20年11月～平成26年3月）における中心市街地の現状分析及び取組効果の検証を踏まえ、平成27年12月に新たな基本計画の認定を受けた。「人でにぎわうまちづくり」、「ふるさとを活かしたまちづくり」、「安心して暮らせるまちづくり」の3つの方針のもとで事業を実施することにより、「人が集まり、歩いて楽しめ、元気に暮らせる中心市街地」を目指している。

本市の中心市街地は、地域における行政、経済、文化、教育、医療、福祉、娯楽など、多様な都市機能が高度に集積されるとともに、鳥取県西部圏域の道路、鉄道等の交通網が中心市街地を起点に整備され、圏域の様々な便益を提供する「まちの心臓」としての役割も担ってきた。

しかしながら、近年においては、少子高齢化による定住人口の減少のほか、車社会の進展、郊外への大型店の進出等により、中心市街地に集積していたオフィス機能や商業機能も低下してきている。前計画の取り組みにより、中心市街地においては商業環境の整備、文化施設の拡充等による一定の成果が見られるが、引き続き都市機能の増進及び社会・経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進する必要がある。

最近の状況としては、2核1モールの一つの核である角盤町周辺エリアにおいて、平成28年1月に「やよいデパート」が撤退し、また、平成28年度に角盤町周辺エリアでリーディング事業の計画の見直しが必要となった。これを受け、当該エリア全体の事業再構築をするため設置された「角盤町エリア活性化プロジェクト会議」による活性化策の検討を経て、平成29年度には「ひまわり駐車場整備事業」が実施され中心市街地活性化基本計画に追加されることとなった。今後は、当該駐車場と角盤町商店街振興組合、米子市公会堂等との、イベント開催を含めたサービス連携による来街者の増加と賑わいの創出が期待される。

一方、もう一つの核である米子駅周辺エリアについては、空きビル活用が進捗し、ナイトタイムエコノミーは引き続き活況を呈しているところである。

これら二つのエリアについて、核にふさわしい集客・回遊ゾーンを構築することで波及効果を中心市街地全体に行きわたらせ、その活性化に繋げるべく、事業者と関係機関が一体となって効果的な事業実施に向け取り組むこととしている。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(中心市街地地域)	平成26年度 (計画期間開始前年度)	平成29年度 (フォローアップ年度)
人口	5,004人	4,770人
人口増減数	-75人	-115人
社会増減数	-19人	-45人
転入者数	314人	304人

2. 平成29年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

角盤町エリアでは、米子高島屋近隣に立地し来客の核の一つであった「やよいデパート」が平成28年1月に撤退したことで来街者が減少し、中心市街地でJR米子駅周辺と並び、基本計画で核と位置付けた角盤町エリアの賑わいは大きく低下した。

また、平成28年度に中心市街地活性化基本計画でリーディング事業と位置づけた「商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業」の事業見直しにより、当該事業とそれに連携した事業の実施は困難な状況となっている。

このような状況の中、当協議会が主催した「角盤町エリアまちづくり構想ワーキンググループ会議」を角盤町商店街の商業者・金融機関・行政等と連携して開催。これからのこのエリアの方向性を「人が集まり、歩いて楽しめ、元気に暮らせる」まちづくりを目指すというコンセンサスが形成された。

その後、平成28年度末には、「やよいデパート」跡地の取得者を含め、角盤町商店街振興組合、(株)米子高島屋、米子市及び当協議会を中心に「角盤町エリア活性化プロジェクト会議」を組織し、今後の角盤町商店街の具体的な施策や事業主体を含めた協議を行った。その結果、官民連携により先のコンセンサスに基づくまちづくりを目指していく中で、「やよいデパート」跡地に、環境に配慮した「ひまわり駐車場」が整備され、平成30年3月にオープンした。

今後とも角盤町商店街振興組合を中心に、引き続き米子市及び当協議会が連携支援して積極的な事業推進が図られることにより、中心市街地活性化基本計画は順調に進捗していくものと評価している。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
人が集いにぎわうまち	歩行者等通行量 (自転車含む)	12,945 人 (H26)	13,200 人 (H32)	9,773 人 (H29)	③	③
	駐車場の利用台数 (時間貸しのみ)	1,498,308 台 (H26)	1,515,000 台 (H32)	1,421,417 台 (H29)	③	③
歴史や文化、自然に触れ合えるまち	文化施設の利用者数	1,138,317 人 (H25)	1,140,000 人 (H32)	1,111,950 人 (H28)	③	③
	下町観光ガイドの利用者数	956 人 (H26)	1,380 人 (H32)	1,157 人 (H29)	③	③
住みたくなるまち	人口の社会増減	H22～27年の平均 -5 人 (3月末時点)	H28～33年の平均をブラスに (3月末時点)	H28～30年の平均 -18 人 (3月末時点)	②	②

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

【歩行者等通行量について】

基準値と比較して、角盤町エリアが「やよいデパート」の撤退以降大きく減少している中であって、駅前エリアを中心とする他の3エリア合計値は、ほぼ同程度を維持している。

現在、角盤町エリアにおいては、米子市公会堂のイベント来客者に対する角盤町商店街での粗品進呈や、同商店街でのイベント開催時に「ひまわり駐車場」の一部を提供するなど相互利用を促進する活性化策を検討している。このような来街者の利便性を高めるサービス連携がエリア全体に浸透することで、今後、数値の回復が期待でき、目標達成可能と見込まれる。

【駐車場の利用台数について】

米子駅周辺の駐車場利用台数は順調に推移しており、中心市街地全体の利用台数を下支えている状況である。一方、角盤町エリアの駐車場利用台数は、「やよいデパート」撤退の直接的影響は下げ止まったものの、高島屋東館のリニューアルに伴う店舗の一時閉鎖などにより下降した。現在、同エリアにおいては、米子市公会堂のイベント来客者に対する角盤町商店街での粗品進呈や、同商店街でのイベント開催時に「ひまわり駐車場」の一部を提供するなど相

互利用を促進する活性化策を検討している。

今後、このような来街者の利便性を高めるサービス連携がエリア全体に浸透することで賑わいの創出が期待できることから、目標達成可能と見込まれる。

【文化施設の利用者数について】

文化施設の利用者数については、概ね堅調に推移している。今後、「もっと知りたい米子城事業」など魅力的なソフト事業の実施や「山陰歴史観整備事業」による利用者数の増加により、目標達成は可能であると見込まれる。

【下町観光ガイドの利用者数について】

利用者数については、団体客が少なかったことも影響して、目標値には至らなかった。しかしながら、30年度に入り米子城跡をめぐるコースが旅行会社のツアー日程に組み込まれるなど活況を呈しており、今後も、ニーズに対応したコース設定や情報発信を積極的に行うことで、目標達成可能であると見込まれる。

【人口の社会増減について】

空き家を活用した事業は徐々に増えつつあるが、民間共同住宅の建設が少なかったことも影響し、中心市街地人口の社会動態については基準値を下回る結果となった。今後も引き続き中心市街地の有利性を情報発信し、民間共同住宅の建設や空き家活用を促していく。

なお、現状では目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

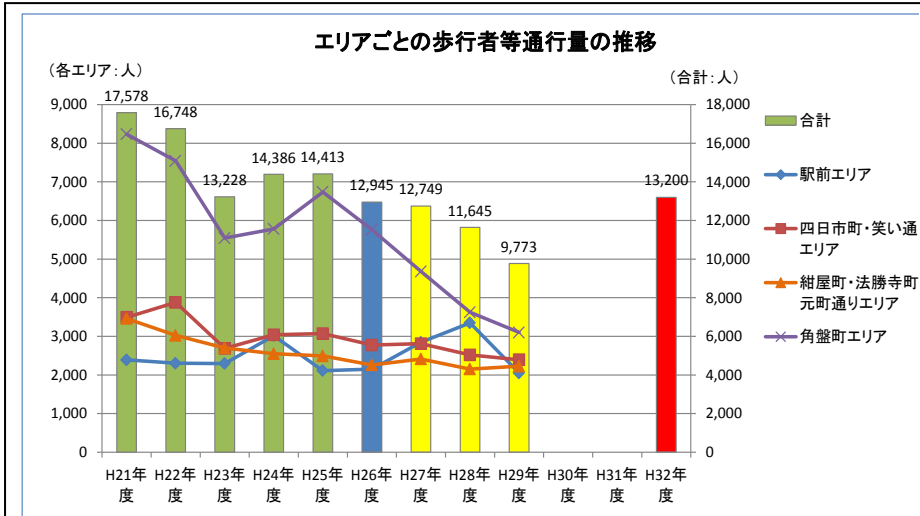
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップの実施から変更はない。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「歩行者等通行量（自転車を含む）」※目標設定の考え方基本計画 P58～P65 参照

●調査結果の推移



年	(人／年度)
H26	12,945 (基準年値)
H27	12,749
H28	11,645
H29	9,773
H30	
H31	
H32	13,200 (目標値)

※調査方法： 平日、休日の6日間実施。調査地点12地点において、調査時間を10時～17時までとし、毎時30分間計測。平日平均値、休日平均値を合計した。

※調査月： 平成29年10月・11月

※調査主体： 米子市

※調査対象： 自転車を含む中学生以上の歩行者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. にぎわいのある商店街づくり事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成17年度～		
事業概要	空き店舗に出店する事業者に店舗改修費等の助成を行い、商店街の魅力や集客力を高めるとともに、空き店舗の解消を図る。		
事業効果及び進捗状況	・新規出店見込み数と実績数		
	エリア名	見込み (H27～H32年度)	
	実績 (H27～H29年度)		
	法勝寺町・元町周辺	5店舗	1店舗
	四日市町周辺	8店舗	1店舗
	角盤町周辺	3店舗	1店舗
	その他地区	4店舗	2店舗
合計	20店舗	5店舗	
平成29年度は、その他地区（米子駅周辺）で2店舗の出店があった。また、他事業の活用によりゲストハウス兼コミュニティスペースが新規オープンしている。当該事業としては完了することにより200人の歩行者等通行量の増加を見込んでいるが、それら他事業との相乗効果により、まちなかの賑わい創出につなげたい。			

②. 新生米子市立図書館の運営（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成25年度～
事業概要	図書の出しのみならず、ビジネス支援、多目的スペースを活用した市民の生涯学習の発表の機会の提供などを含めた図書館の運営
事業効果及び進捗状況	来館者数については、平成25年8月のリニューアルオープンで一時期増加したが、近年は落ち着きつつある。進捗状況として、図書館の利用案内（パンフレット）、ホームページ、図書館だより（毎月1回発行）等に多目的スペースのPRやイベント案内を掲載し、特定のテーマに特化した展示コーナーを増やすなど利用促進に努め、多様なニーズに対応している。また平成29年度より公式SNS（Facebook、Twitter、Instagram）を開設し、イベント情報や研修室開放状況など即時性の高い情報を提供することで、幅広い年齢層の新たな図書館利用者の拡大に努めている。

③. 山陰歴史館整備事業（米子市）

事業完了時期	【未】平成31年度
事業概要	「伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）」に基づき、老朽化している山陰歴史館を整備することにより、来館者や利用者の拡大を図る。
事業効果及び進捗状況	平成27年度に米子市市内プロジェクトチームを組織し、平成29年度は、昨年度に引き続き活用についての検討を重ねている。米子城跡のガイダンスや下町散策の拠点施設として機能するよう整備が完了すれば、入館者数の増加が見込まれ、まちなかの賑わい創出につながる。

④. 米子駅南北自由通路等整備事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成34年度
事業概要	鉄道で分断されている米子駅の南北地区をバリアフリー化に配慮した自由通路で連絡し、歩行者等の安全性・利便性の向上や駅周辺の活性化を図る。
事業効果及び進捗状況	平成26年度 事前調査 平成27年度 予備設計及び補償予備調査 平成28年度 補償本調査及び都市計画決定、詳細設計（駅南広場） 支障移転補償（H28～H34年度） 平成30年度 詳細設計（自由通路） 平成32年度 工事着手（予定） 平成34年度 竣工（予定） 当該事業については、当初の計画より遅れが生じ、計画期間内での効果の発現は困難であると想定される。ただし、事業が完了することにより360人の通行量増加を見込んでおり、まちなかの賑わい創出につながる。

⑤. 民間共同住宅建設事業

事業完了時期	【実施中】平成27年度～
事業概要	民間事業者による共同住宅の建設
事業効果及び進捗状況	平成27年度 3棟（110戸） 竣工 平成28年度 3棟（48戸） 竣工 平成29年度 1棟（3戸） 竣工 これらの共同住宅の建設により、次回調査時に効果が現れることを期待している。

⑥. 商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業（(株)米子高島屋）

事業完了時期	【未】平成28年度～
事業概要	米子高島屋東館の空床スペースを改装し、子どもの遊びを通じた知育・体育プログラムを提供する施設の整備、子育て中の人のニーズが満たせる子育てカフェ（ママカフェ）の設置、育児グッズや育児玩具を集積した売場の新設、地元のケーブルテレビ局と連携したスタジオの開設など整備を行う。
事業効果及び進捗状況	角盤町エリアにある「やよいデパート」の撤退の影響もあり、来街者数等に大きな変化が生じ、エリア全体の事業再構築が必要となった。現在は、「角盤町エリア活性化プロジェクト会議」を設置して活性化策を検討しており、当該事業も事業内容を見直して事業実施に向けて取り組むこととしている。

⑦. 商都米子再興戦略・商業施設整備事業（(株)リサ・クリエイティブプロダクツ）

事業完了時期	【未】平成28年度～
事業概要	子ども連れでも気軽に飲食等ができ、米子高島屋が整備を予定しているキッズサポート施設との相乗効果が期待できる商業施設の整備。
事業効果及び進捗状況	相乗効果を狙っていた米子高島屋の「商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業」の事業見直し、同エリアにある「やよいデパート」の撤退などにより、角盤町エリア全体の事業再構築が必要となり、事業実施に至っていない。現在は、「角盤町エリア活性化プロジェクト会議」を設置して活性化策を検討しており、当該事業も周辺施設との連携を図りながら再度事業化への検討を行っていく。

⑧. よなごまちなかコミュニティ活性化支援事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成27年度～
事業概要	地域活性化に資する生活支援サービスやコミュニティ拠点施設・ゲストハウスの運営、コミュニティビジネスの起業等の取組に要する経費を支援する。
事業効果及び進捗状況	平成27年度にオープンしたコミュニティスペース・ゲストハウスは順

捗状況	調に運営されており、平成29年度は当該事業としてゲストハウス兼コミュニティスペース1店舗がオープンした。なお、当該事業が完了することにより50人の通行量増加を見込んでおり、他事業の活用により新規オープンしたコミュニティ食堂、サテライト研究室・レンタルスペースなどとの相乗効果により、まちなかの賑わい創出につなげたい。
-----	--

⑨. 【平成29年度追加】ひまわり駐車場整備事業（(株)アバロン）

事業完了時期	【済】平成29年度
事業概要	電気自動車充電設備を備えた、広い駐車スペースの平面駐車場の整備と、植栽による良好な景観形成を推進する事業 駐車台数 164台 電気自動車充電設備 6基(12台分) 植栽 総延長=230.7m
事業効果及び進捗状況	駐車スペースが広く環境に配慮された平面駐車場を整備することで、中心市街地の商業施設、文化施設等を訪れる人の利便性の向上を図り、まちなかの賑わい創出につなげたい。

⑩. 【平成29年度追加】道笑町2丁目ゲストハウス整備事業（山陰ステキ不動産）

事業完了時期	【済】平成29年度
事業概要	奥行き長い町家形式の空き家を活用し、ゲストハウス及びシェアオフィスを複合的に整備する事業
事業効果及び進捗状況	空き家の活用によりゲストハウス兼コミュニティスペースを整備することで、地域コミュニティ活性化に寄与するとともに、インバウンド等来街者の多様なニーズに応え、賑わいや交流の創出を図る。

●目標達成の見通し及び今後の対策

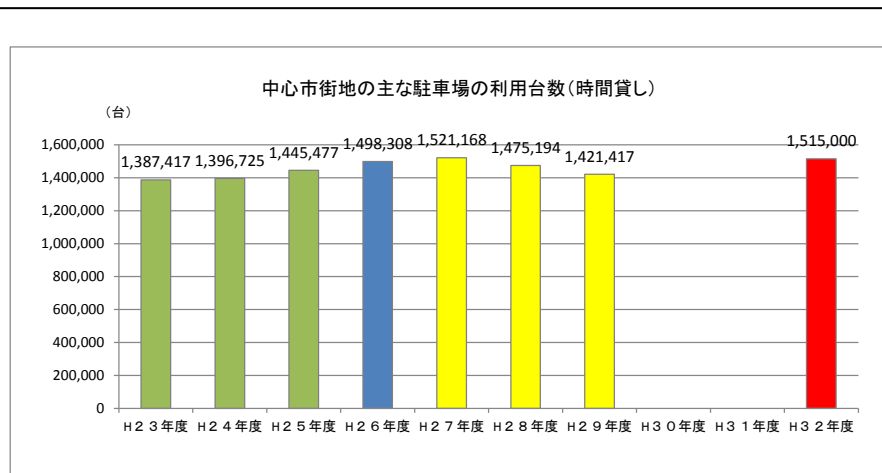
歩行者等通行量の最新値（平成29年10月・11月調査）は、基準年値と比較して約25%（3,172人）減少している。従前から、中心市街地の歩行者等通行量は減少傾向にあり、特に角盤町エリアでは「やよいデパート」の撤退以降大きく減少し、ピーク時（平成21年度）の約4割となっている。このように中心市街地全体としては減少傾向にあるものの、その他のエリアはほぼ横ばいを維持しており、米子駅周辺エリアでは「道笑町2丁目ゲストハウス整備事業」など空き家活用も徐々に増えていることから、当面、順調な推移が期待できる。

角盤町エリアにおいては、現在、米子市公会堂のイベント来客者に対する角盤町商店街での粗品進呈や、同商店街でのイベント開催時に「ひまわり駐車場」の一部を提供するなど相互利用を促進する活性化策を検討している。このような来街者の利便性を高めるサービス連携が周辺エリア全体に浸透することで、賑わいの再生が期待されている。

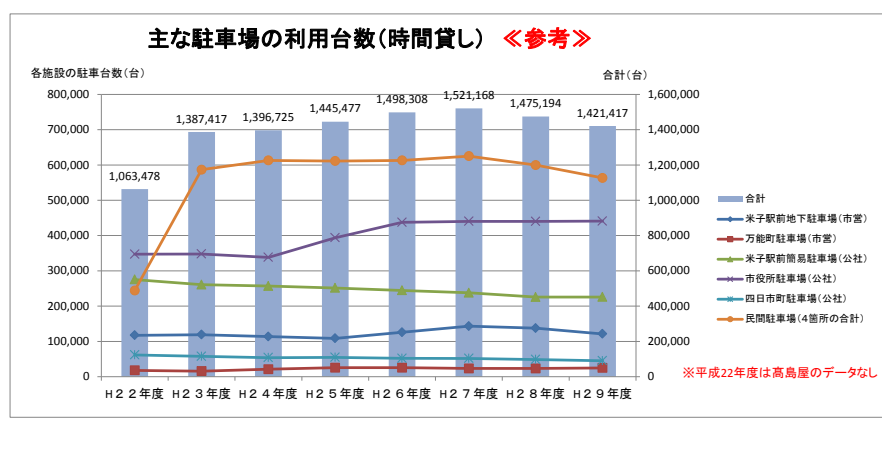
今後は、米子駅周辺エリアと合わせた二つの核を起点に中心市街地全体に賑わいの効果を波及させ、目標達成に向けて実績を伸ばしていきたい。

「駐車場の利用台数（時間貸しのみ）」※目標設定の考え方基本計画 P65～P69 参照

●調査結果の推移



年	(台/年度)
H26	1,498,308 (基準年値)
H27	1,521,168
H28	1,475,194
H29	1,421,417
H30	
H31	
H32	1,515,000 (目標値)



※調査方法： 公営・民間合わせて9箇所を設定し、各施設の所有者からの報告により把握

※調査月： 平成30年4月（前年度4月～3月の合計）

※調査主体： 米子市

※調査対象： 米子駅前地下駐車場（市営）、万能町駐車場（市営）、米子駅前簡易駐車場（公社）
市役所駐車場（公社）、四日市町駐車場（公社）、民間駐車場（4箇所）の計9箇所の時間貸しのみ

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 山陰歴史館整備事業（米子市）

事業完了時期	【未】平成31年度
事業概要	「伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）」に基づき、老朽化している山陰歴史館を整備することにより、来館者や利用者の拡大を図る。
事業効果及び進捗状況	平成27年度に米子市庁内プロジェクトチームを組織し、平成29年度は、昨年度に引き続き利活用についての検討を重ねている。整備が完了することにより、724台/年の利用台数の増加を見込んでおり、来街者をまちなかに呼び込む効果が期待される。

②. 商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業（(株) 米子高島屋）

事業完了時期	【未】平成28年度～
事業概要	米子高島屋東館の空床スペースを改装し、子どもの遊びを通じた知育・体育プログラムを提供する施設の整備、子育て中の人々のニーズが満たせる子育てカフェ（ママカフェ）の設置、育児グッズや育児玩具を集積した売場の新設、地元のケーブルテレビ局と連携したスタジオの開設など整備を行う。
事業効果及び進捗状況	角盤町エリアにある「やよいデパート」の撤退の影響もあり、来街者数等に大きな変化が生じ、エリア全体の事業再構築が必要となった。現在は、「角盤町エリア活性化プロジェクト会議」を設置して活性化策を検討しており、当該事業も事業内容を見直して事業実施に向けて取り組むこととしている。

③. にぎわいのある商店街づくり事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成17年度～		
事業概要	空き店舗に出店する事業者到店舗改修費等の助成を行い、商店街の魅力や集客力を高めるとともに、空き店舗の解消を図る。		
事業効果及び進捗状況	・新規出店見込み数と実績数		
	エリア名	見込み (H27～H32年度)	
	実績 (H27～H29年度)		
	法勝寺町・元町周辺	5店舗	1店舗
	四日市町周辺	8店舗	1店舗
	角盤町周辺	3店舗	1店舗
	その他地区	4店舗	2店舗
合計	20店舗	5店舗	
平成29年度は、米子駅周辺エリアで2店舗の出店があった。また、他事業の活用によりゲストハウス兼コミュニティスペース1店舗が新規オープンしている。当該事業としては完了することにより8,760台/年の利用台数増加を見込んでいるが、それら他事業との相乗効果により、より多くの来街者をまちなかに呼び込む効果に期待したい。			

④. 公会堂利用促進事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成26年度～
事業概要	ホールはもとより、ホワイエは市民ギャラリーやミニコンサート等、広場は憩いの場やフリーマーケット等、多目的なイベント利用への働きかけをし、来街者を増やす。
事業効果及び進捗状況	平成26年3月のリニューアルオープン後、ホール利用に留まらず、ライブや夏まつり、イルミネーション点灯式などの様々なイベントが行われ、来街者数増に繋がっている。前庭は全面に芝生が張られて開放的な

空間となり、平成29年度においても、ダンスチームの練習やウォーキングイベントの集合場所、盆踊大会会場などとして活用されている。さらには、周辺商店街との連携による「山陰いいものマルシェ」など各種イベントの開催など、申請のある利用のみならず、数字に表れない市民の憩いの場としての効果も現れている。
--

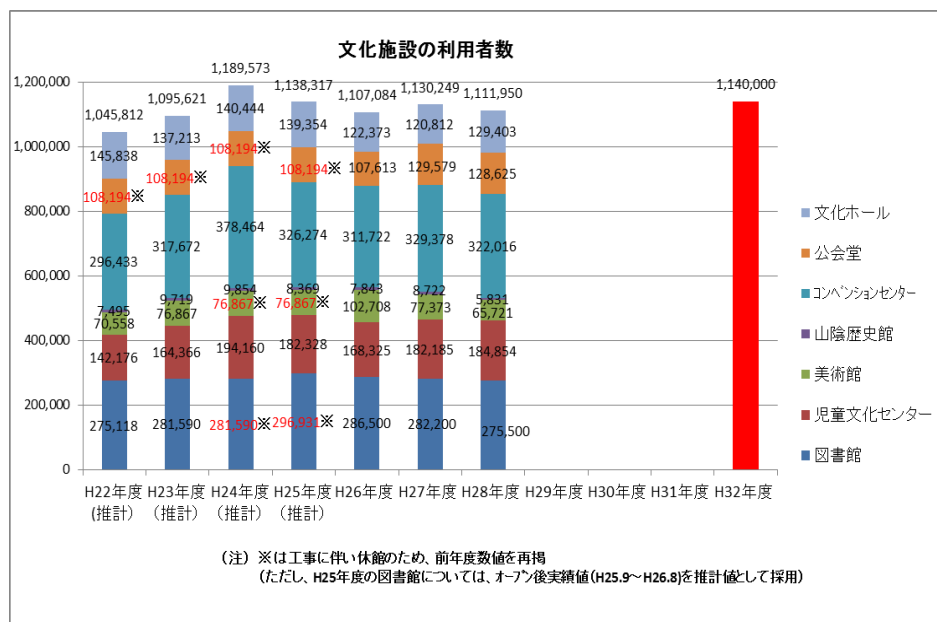
●目標達成の見通し及び今後の対策

JR米子駅は交通の拠点としての機能を有しており、米子駅周辺エリアは、近年飲食店の出店やホテルの建設など賑わいを見せている。それに伴って米子駅周辺の駐車場利用台数は順調に推移しており、目標値は下回ったものの中心市街地全体の利用台数を下支えしている状況である。一方、角盤町エリアでは「やよいデパート」の撤退の影響もあって来街者数等に大きな変化が生じ、エリア全体の事業再構築が必要となった。これを受け「角盤町エリア活性化プロジェクト会議」による活性化策の検討を経て、平成29年度、「ひまわり駐車場整備事業」が実施されるにいたった。

現在、角盤町エリアでは、米子市公会堂のイベント来客者に対する角盤町商店街での粗品進呈や、同商店街でのイベント開催時に「ひまわり駐車場」の一部を提供するなど相互利用を促進する活性化策を検討している。このような来街者の利便性を高めるサービス連携が周辺エリア全体に浸透することで、賑わい創出による利用台数の増加も期待されることから、目標達成は可能であると見込まれる。

「文化施設の利用者数について」 ※目標設定の考え方基本計画 P70～P73 参照

●調査結果の推移



年	(人／年度)
H25	1,138,317 (基準年値)
H26	1,107,084
H27	1,130,249
H28	1,111,950
H29	
H30	
H31	
H32	1,140,000 (目標値)

※調査方法： 事務報告等

※調査月： 平成29年9月（前年度4月～3月の合計）

※調査主体： 米子市

※調査対象： 文化ホール、公会堂、コンベンションセンター、山陰歴史館、美術館、児童文化センター
図書館の計7箇所の文化施設

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 山陰歴史館整備事業（米子市）

事業完了時期	【未】平成31年度
事業概要	「伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）」に基づき、老朽化している山陰歴史館を整備することにより、来館者や利用者の拡大を図る。
事業効果及び進捗状況	平成27年度に米子市市内プロジェクトチームを組織し、平成29年度は、昨年度に引き続き利活用についての検討を重ねている。整備の完了により、1,987人／年の利用者の増加を見込んでいる。

②. 新生米子市立図書館の運営（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成25年度～
事業概要	図書館の貸出しのみならず、ビジネス支援、多目的スペースを活用した市民の生涯学習の発表の機会の提供などを含めた図書館の運営
事業効果及び進捗状況	来館者数については、平成25年8月のリニューアルオープンで一時期増加したが、近年は落ち着きつつある。進捗状況として、図書館の利用案内（パンフレット）、ホームページ、図書館だより（毎月1回発行）等に多目的スペースのPRやイベント案内を掲載し、特定のテーマに特化した展示コーナーを増やすなど利用促進に努め、多様なニーズに対応し

	ている。また平成29年度より公式SNS（Facebook、Twitter、Instagram）を開設し、イベント情報や研修室開放状況など即時性の高い情報を提供することで、幅広い年齢層の新たな図書館利用者の拡大に努めている。
--	---

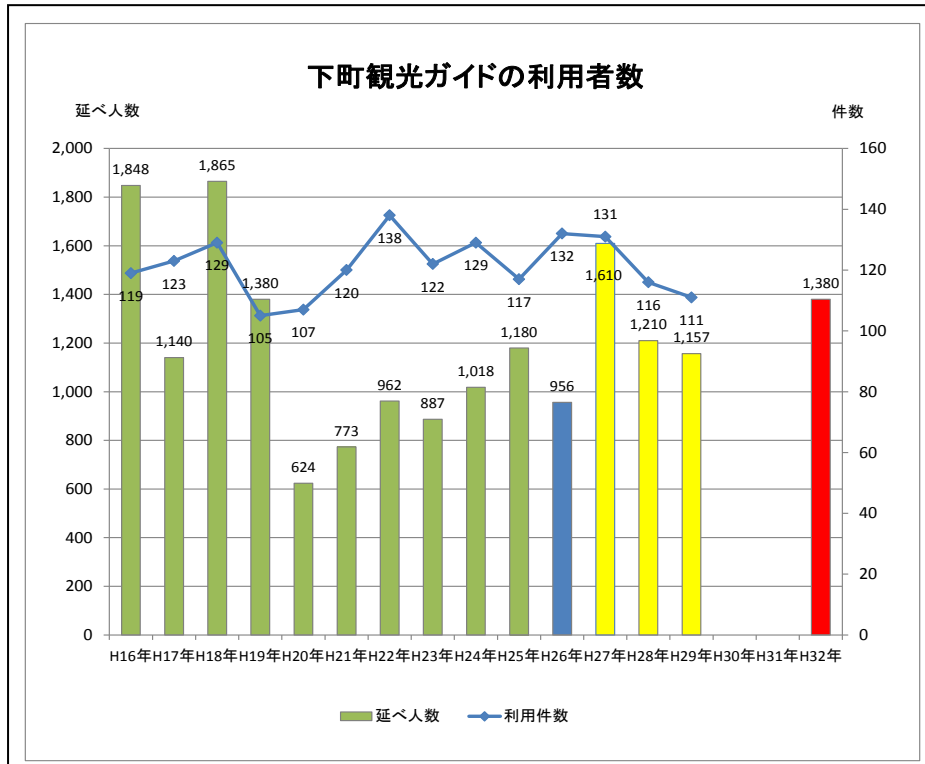
●目標達成の見通し及び今後の対策

文化施設の利用者数については、図書館・美術館拡充整備及び公会堂改修の効果もあり、概ね堅調に推移している。今後予定されている「山陰歴史館整備事業」の実施や、SNSを駆使した魅力の情報発信による利用者数の増加により、目標達成は可能であると見込まれる。

なお、平成26年度の数値は認定前の調査による。

「下町観光ガイドの利用者数について」 ※目標設定の考え方基本計画 P73～P75 参照

●調査結果の推移



年	(人／年)
H26	956 (基準年値)
H27	1,610
H28	1,210
H29	1,157
H30	
H31	
H32	1,380 (目標値)

※調査方法： 米子市観光協会がとりまとめている利用者数を集計し、把握

※調査月： 平成30年1月（前年1月～12月の合計）

※調査主体： 米子市

※調査対象： 下町観光ガイド利用者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 山陰歴史館整備に伴う増加

事業完了時期	【未】平成31年度
事業概要	米子城跡のガイダンスや下町散策の拠点施設としても機能するように整備し、市民や観光客が気軽に訪れることができる環境を整える。
事業効果及び進捗状況	平成27年度に米子市市内プロジェクトチームを組織し、平成29年度は、昨年度に引き続き利活用についての検討を重ねている。整備の完了により、111人の下町観光ガイド利用者数増加を見込んでいる。

②. 新規ルート設定による増加

事業完了時期	【実施中】平成28年度～
事業概要	現在のモデルコースだけでなく、新規コースの開発にも取り組むことによって、リピート客への対応や多様なニーズを受け入れる。
事業効果及び進捗状況	平成29年は、従来の5つのモデルコースに変更はなく、団体客が少なかったことも影響して、前年比約4%の減少となった。なお平成30年4月より、実施主体が「米子観光まちづくり公社」に変更となった。こ

れにより、歴史体験コースなど多様なニーズに応えるメニューがますます充実することになったことで、今後、利用者数の増加が期待される。

③. まちなか「小路」案内板設置事業（よなごの88選実行委員会）

事業完了時期	【済】平成26年度～29年度
事業概要	中心市街地に残る約400年前の「町割り」を形成する「小路」の位置や名称を特定し、案内板を設置する。
事業効果及び進捗状況	平成26年度11枚、平成27年度16枚、平成28年度4枚の案内板が設置された。これにより市民や観光客を城下町の面影が濃く残る町並みへ誘導し、「小路」の歴史や魅力をより感じながら散策することができるようになり、下町観光ガイドの充実と交流人口の増加に繋がった。

④. 米子のまち 小路めぐりマップ作成（よなごの88選実行委員会）

事業完了時期	【済】平成27年度～29年度
事業概要	まちなかの「小路」の歴史的な背景を学ぶと共に、現代の町の魅力や歴史的な背景を味わえるよう、楽しいまち歩き提案とマップを作成する。
事業効果及び進捗状況	29年3月にマップ完成。市民や観光客を城下町の面影が濃く残る町並みへ誘導し、「小路」の歴史や魅力を感じながら散策することにより、交流人口の増加に繋がった。なお29年度末には、集大成としてガイドブック「よなごの小路八十八選」が発刊され、下町観光ガイドやまち歩きイベントでの活用が期待されている。

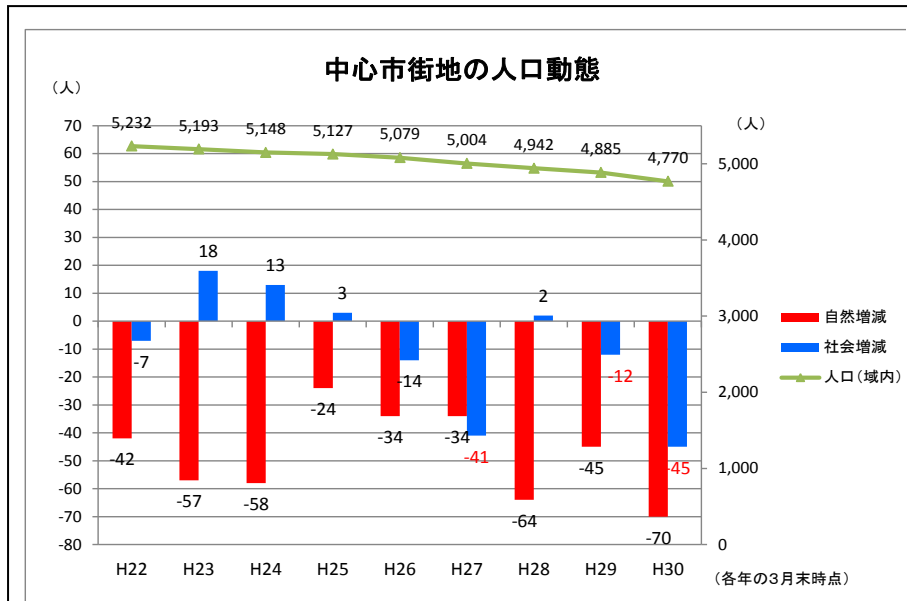
●目標達成の見通し及び今後の対策

平成29年の利用者数については、団体客が少なかったことも影響して、対前年比で約4%(53人)の減少となっている。

そのような状況のもと、平成30年4月から、実施主体が「米子市観光協会」から「米子観光まちづくり公社」に変更となり、「米子下町観光ガイド」は「城下町米子観光ガイド」にリニューアルされ、メニューのスケールアップが図られることとなった。今後も、ニーズに対応したコース設定に努めるとともに、「まちなかを巡るモニターツアー」や「ブロガーを活用した情報発信」を積極的に行うことによってまちなかの魅力をPRし、団体客のみならずリピーターの増加にも繋げることで、目標達成は可能であると見込まれる。

「人口の社会増減について」 ※目標設定の考え方基本計画 P76～P79 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H27	H22～27年の平均 -5人 (基準年値)
H28	2人
H29	-12人
H30	-45人
H31	
H32	
H33	H28～33年の平均をプラスに (目標値)

※調査方法：住民基本台帳から集計

※調査月：平成30年4月（前年度4月～3月）

※調査主体：米子市

※調査対象：中心市街地区域内

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 民間共同住宅建設事業

事業完了時期	【実施中】平成27年度～
事業概要	民間事業者による共同住宅の建設
事業効果及び進捗状況	平成27年度 3棟（110戸） 竣工 平成28年度 3棟（48戸） 竣工 平成29年度 1棟（3戸） 竣工 これらの共同住宅の建設により、次回調査時に効果が現れることを期待している。

②. まちなか空家活用プロジェクト（米子まちなか空家活用プロジェクト運営会議）

事業完了時期	【実施中】平成25年度～
事業概要	空き家を改修し、地域交流スペース機能を備えた若者向けシェアハウスの整備及び「岩倉ふらっと」の管理・運営
事業効果及び進捗状況	新規物件については掘り起し中。 「岩倉ふらっと」では地域に開かれたイベントを継続的に開催しており、平成29年度は4回開催した。

●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地の人口の社会増減については、平成29年度は昨年度に引き続きマイナスとなった。これは、民間共同住宅の竣工に伴う転入者以上に転出者があったためと考えられる。

今後も、中心市街地の高い機能性や利便性を情報発信し、民間共同住宅の建設や空き家活用を促すことに積極的に取り組んでいく。なお、現状では目標達成可能とは見込まれないことから、社会減について分析を行うとともに既存事業の内容の拡充について検討する。

